

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成18年10～12月)のポイント

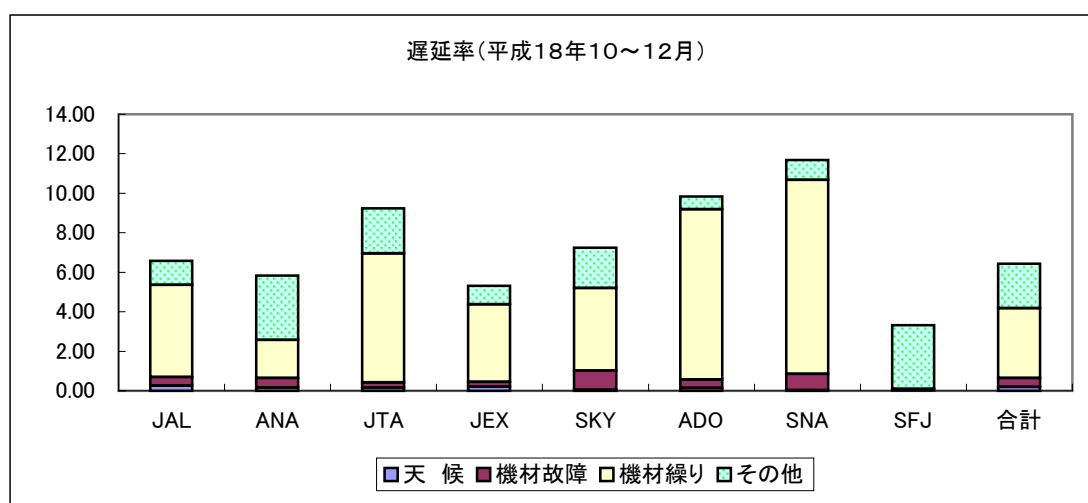
※日本航空(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、ジャルエクスプレス、スカイマーク、北海道国際航空、スカイネットアジア航空及びスターフライヤー

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成18年10月～12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
6. 43%	7. 29%	0. 86ポイント減少

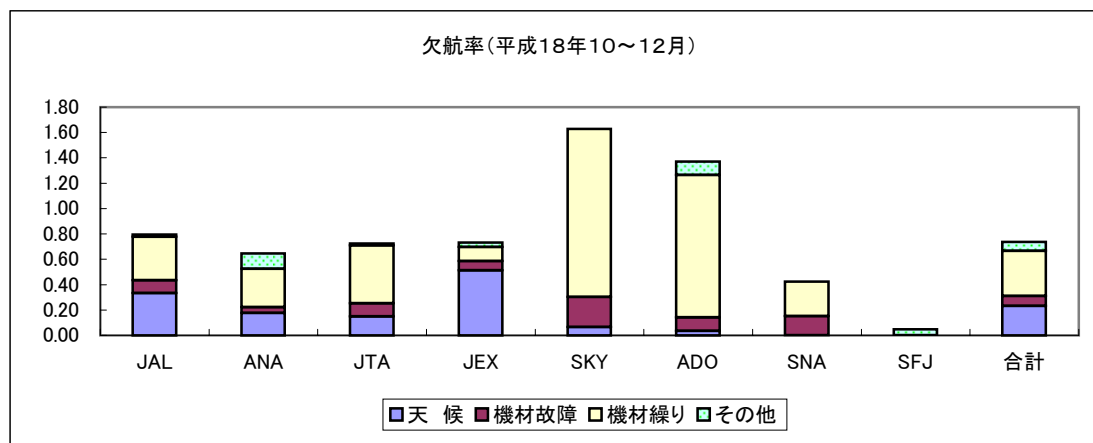
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成18年10月～12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0. 74%	1. 26%	0. 52ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成18年10月～12月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	888km	891km	0.3%減
輸送人員	2427万3484人	2320万8901人	4.6%増
輸送人キロ	215億5887万人キロ	206億7336万人キロ	4.3%増
旅客収入	3580億95百万円	3385億35百万円	5.8%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.8千円	14.6千円	1.4%増
輸送人キロあたり 旅客収入	16.6円	16.4円	1.2%増

(2) 路線別データ(平成18年10月～12月)

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	235万5971人
2位	東京＝福岡	213万3682人
3位	東京＝大阪	167万4700人
4位	東京＝那覇	134万8933人
5位	東京＝広島	65万5221人
全路線		2422万4225人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	中部＝函館	82.9%
2位	松山＝札幌	81.3%
3位	東京＝石垣	80.1%
4位	中部＝旭川	79.9%
5位	大阪＝札幌	77.9%
全路線		65.4%

下位5路線は次のとおり。

1位	大島＝八丈島	21.2%
2位	札幌＝中標津	30.6%
3位	札幌＝庄内	32.1%
4位	関西＝高知	32.9%
5位	神戸＝熊本	33.8%
全路線		65.4%